

魔法のスイーツ大作戦

夢をかなえて！ウィッシュユウコを読んで

坂口 莉菜

スイーツやお菓子は、ただの甘い食べ物？

そして、糖尿病とかの原因にもなる悪いやつ

？もちろん、食べ過ぎたらいけないけれど、

スイーツはそれだけじゃない。もっともっと

何か特別で、何か魔法のような力がある、私

にはそんな気がする食べ物である。この本を

読んでから、そう思うようになった。

カンタベリト日本語補習校

スイーツを作るには、レシピ通りの材料を

そろえて、レシピ通りの分量をはかって、さ

らに、レシピ通りの作り方でワンステップず

つ進んでいくという簡単そうで難しい作業が

必要なのである。そのうえ、これらの作業の

中から、材料の量が少しでも多かったり、オ

ーブンなどの焼き時間が少しでも長かったり、

と一つでも欠けていたことがあると、完璧な

ものは作れない。だからこそ、大変なことが

多い分、そのスイーツというものができた

キの達成感はずごく、それがすごく特別な
 ものになる。主人公のルルのおかげで私はそ
 う思うようになった。

スイーツが特別な理由はそれだけじゃない。
 スイーツは、いろいろなイベントに登場して
 は活やくしている食べ物でもある。結婚式で
 大勢の人に見守ってもらう中で新郎新婦が切
 るウエディングケーキ。たくさんの光のよう
 輝いたろうそくがささったリースケーキ。
 バレンタインデーに好きな男の子に顔を赤く

カンタベリト日本語補習校

しながら渡すチョコレート。これらのスイー
 ツという名のプレゼントを受け取り、笑顔に
 なる人達。その人達の笑顔を見てうれしくな
 る送り主達。まさに、スイーツは人間を幸せ
 にする笑顔の源である。そして、これがスイ
 ーツの魔法のようなカともいえると思う。
 そして、もう一つ。私はルルのおかげで、
 お菓子作りの楽しさも知った。スイーツを誰
 かに渡すときに、その人のよろこぶ姿を想像
 するときが、お菓子作りで一番楽しいときで

ある。たくさんの人にスイーツで笑顔を届けたい。そんな思いで、いつの間にか私の将来の夢は、モデルさんからパティシエに変わっていた。そして、いずれ自分のお店を立ち上げたいとも思っている。だから、この夢を叶えるために、暇な日とかは家族やフラットメイト、友達に手作りのスイーツをふるまっている。私は、この本で一つ、新しい趣味を発見できたともいえる。

カンタベリト日本語補習校

つての魔法の本である。これからも、きっとこの本を読んだことを忘れないだろう。そして、これからもスイーツの出来を友達とせたくさん作ってみんなをよろこばせたい。